

国内新製品紹介

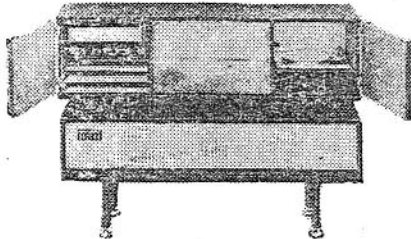
サンヨーの新製品 2 種

●ステレオ装置 “STG-550”

写真でおわかりのように、下の台がスピーカー・システム、上の左にアンプ部、右側がプレーヤー部、中央部はワイン・コーナー(洋酒棚)となったデラックス型である。また、本機には残響附加装置もついている。

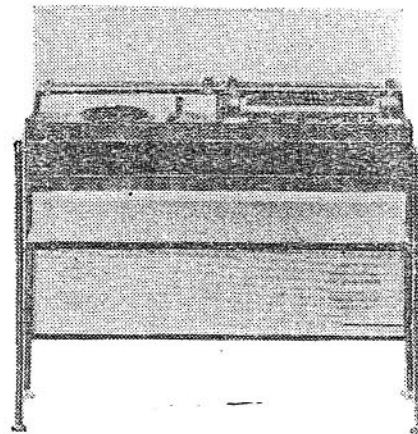
チューナー、プリアンプ部は 6BE6×2, 6BA6×2, 6AV6×2, 6R-HP2×2, 5R-K16, 1N60×2 による 2 チャンネルで、右チャンネルは 535~1,605 kc と 3.8~12 Mc の 2 バンド、左チャンネルは 535~1,605 kc のシングル・バンドで、出力は無歪 2.7 W~2.7 W, 最大 3.5 W~3.5 W で消費電力は 82 VA である。プレーヤーは 4 極インダクション・モーターを使った 4 スピード型で、ピックアップはブラグイン・ヘッド型で、LP-ST はセラミック、SP はクリスタルのカートリッジを使っている。出力はいずれも 0.4 V / 150 mm/sec/1 kc で、クロストークは 1 kc において 20 dB 以上、ターンテーブルの直径は 25 cm。

スピーカー・システムには低音用として 20 cm 型が 2 個、中高音用として 6 cm 型が 2 個、この他に残響附加装置用として 16 cm 型が 1 個と、合計 5 個のスピーカーが納められている。なおこのキャビネットの中には 1 台のアンプが組込まれている。すなわち 12AD7, 6AR5, 5MK9 を使い、出力は無歪で 2.7 W, 最大 3.5 W である。なお、このスピーカー・システムの再生周波数は 70~15,000 c/s で、クロスオーバーは 5,000 c/s である。現金正価は ¥99,500 である。



●グラント・ステレオ “STG-290”

上面操作方式のステレオ装置で、2 系統のチューナー・アンプが組込まれている。チューナーとしては右チャンネルが 535~1,605 kc と 3.8~12 Mc、左チャンネルが 535~1,605 kc である。使用真空管は 12BE6×2, 12BA6×2, 6AV6×2, 33AE×2、それにシリコン整流器が入っている。電氣的出力は無歪で 1.5 W+1.5 W, 最大 2 W+2 W、出力端子は左右チャンネルとも 4 Ω である。スピーカー・システムは 16 cm ブラック・コーン型が 2 個入っており、再生周波数は 80~12,000 c/s、許容入力には左右とも 3 W、ホイス・コイル・インピーダンスはいずれも 4 Ω である。プレーヤーは 4 スピード・インダクション・モーター(速度微調整つき)を使い、ピックアップはクリスタル・ターンオーバー方式である。現金正価は 3 点一組で ¥39,500。



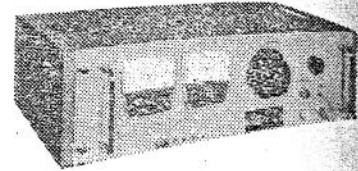
(大阪府守口市京阪本通 2-18)

三洋電機 KK

昭和電子工業の新製品 2 種

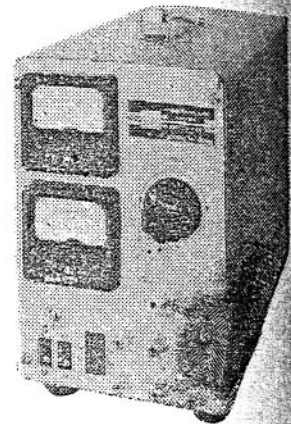
●全トランジスター式 高安定度直流電源

本機は広範囲の出力電圧を微細に連続可変できるオール・トランジスターの直流電源装置で、別表のような 12 機種がある。出力電圧端子は筐体とは完全に絶縁されており、正負任意の点を接地して使用することができる。なお、本機には過負荷防止回路があり、過負荷による制御トランジスターの破壊を防止し、同時に警報ランプで指示するようになっている。検出部、電圧基準部は特殊な温度補償をし、周囲温度の変化による出力電圧の変化を最小限に止めている。本機の電源は交流 90~110 V である。



●真空管式高安定直流電源

これは真空管式のもので、各種電子回路の実験や直流計器の較正などに便利である。標準品としては別表の 5 機種がある内部照明つきの独立した出力電圧計、電流計を有し、出力容量の割に小型に設計されている。出力電圧端子は正負とも筐体から完全に絶縁されているから、任意の点を接地して使用することができる。可変電圧の他に、固定の負電圧 AC6.3 V を取出すこともできる。パネル面に 100V のソケット 2 個、出力用の角型コネクター・ソケットを有している。



(東京都中野区八島町 2 Tel: 381-3278)

昭和電子工業 KK

[オール・トランジスター式]

名称	出力		安定度		リップル
	電圧 (V)	電流 (A)	AC 100V ±10%	0~全負荷	
TSA505	0~50	0~5	5 mV	5 mV	1 mV RMS
TSA365	0~36	"	"	"	"
TSB505	0~50	"	20 mV	20 mV	3 mV RMS
TSB365	0~36	"	"	"	"
TSA502	0~50	0~2	5 mV	5 mV	1 mV RMS
TSA362	0~36	"	"	"	"
TSB502	0~50	"	20 mV	20 mV	3 mV RMS
TSB362	0~36	"	"	"	"
TSC102	0~100	"	50 mV	50 mV	5 mV RMS
TSB101	0~100	0~1	20 mV	20 mV	3 mV RMS
TSB501	0~50	"	"	"	"
TSB361	0~36	"	"	"	"

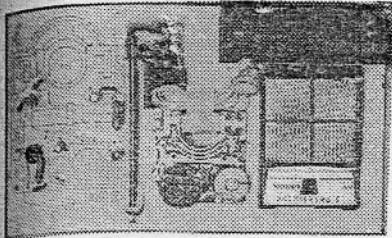
[真空管式高安定直流電源]

名称	出力		安定度		AC 出力		リップル
	電圧 (V)	電流 (mA)	AC 100V ±10%	0~全負荷	電圧 (V)	電流 (A)	
VSA502	0~500	0~200	0.05%	0.05%	6.3	3×2	3 mV
VSA402	0~400	0~200	"	"	6.3	"	"
VSB502	0~500	"	0.5%	0.5%	"	2.5×2	10 mV
VSB402	0~400	"	"	"	"	"	"
VSB105	0~100	0~500	"	"	"	"	"



ユニオンの2石ラジオ・キット “TR-260K”

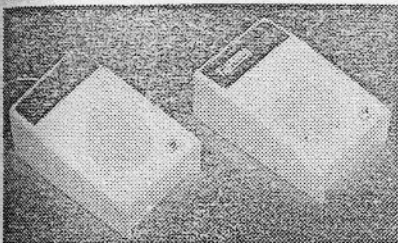
これは教材用として作られたもので、30頁にわたる詳細な説明書がついているので、誰でも組立てることができる。2石レフレックス回路で主要パーツはトランジスター 2SA-100, 2SB-176, ダイオード SD-46, 高周波トランス 1.2 mH:0.4 mH, 入力トランス 15kΩ:600Ω, 出力トランス 750Ω:8Ω, スピーカー 5cm 型, ボリューム・コントロール 161-S₂ 10KT, アンテナ・コイル 340μH, フェライト・コア 8φ×52, バリコン 300P (小型), イヤーホンとされている。定価は ¥1,980。



(横浜市鶴見区下末吉町 9/5 Tel: 鶴見 5-7729)
ユニオン KK

富士山電気のTRインターホン “36型”

超小型に作られたトランジスター式インターホンである。トランジスターは3石で、20m先まで使えるようにコードが具備されていて、オフィス、家庭用に便利である。電源は006P (9V) が1個であるが、約6ヶ月間はそのまま使える。定価は1組が ¥4,200。

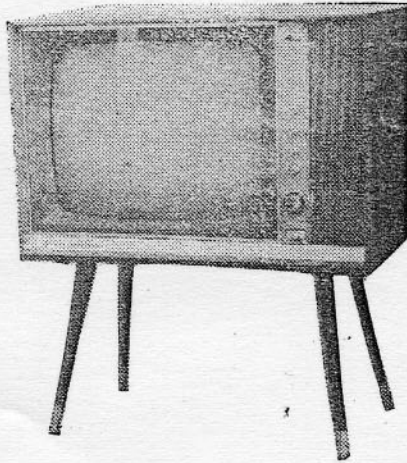


(東京都品川区東中延 2-396)
富士山電気工業 KK

QQQの23型 (114°) TVキット “23Q-7AH”

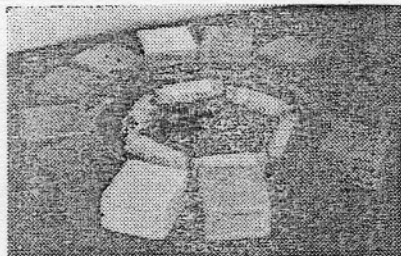
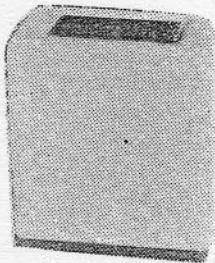
新型の114° 偏向ブラウン管の23型を使った大型受像機である。使用真空管はB管を除いて16球+7石である。入力回路は300Ω平衡、最大感度は30μV/20V P-P, 映像IFは3段、音声方式は2段リミッター増幅、ゲルマニウムによるレシオ検波、出は力1.5Wである。AGCは尖頭直型。水平同期はゲルマニウム対称鋸歯状波AFC、高圧出力は17kV、完全トランス式(シリコン整流)である。またABC/ACCもつき、前面には二つのスピーカーがついていることも本機の特徴である。

(東京都大田区大森 2丁目)
Tel: 761-0039, 5539)
中央無線 KK



不二音響の TR ユニット・アンプ

アンプの積木あそびともいえるもので、一つのユニット(写真上)の中にトランジスター2, 3石の回路で、マイク、インター、バタフライ、PUイコライザーなどの単位機能が収められていて、これらを適当に組み合わせることによっていろいろのプリアンプを自由に



組立てることができる。CやRで組立てるのが面倒な人に向けたインスタント時代の製品である。現在8種類のユニットができていて、すなわち、UA-1, UA-1Bはマイク・プリアンプ、UA-2A:PUイコライザー、UA-3:低レベル信号増幅用、UA-5A, UA-4, UA-8:ミキシング出力用、UA-15:高低音質調整用で、各々46×26×60mmのサイズのケースに収められており、それぞれに専用のソケットがある。価格はいずれもソケットつきで ¥2,300前後である。

(東京都港区芝南佐久間町 1-5)
Tel: 501-3161)

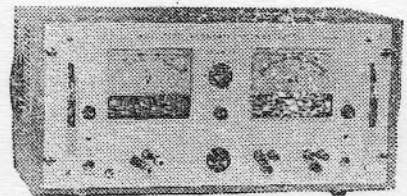
不二音響テレビジョン KK

菊水電波の新製品 2種

●可変・直流安定化電源 “722-C, 725-C”

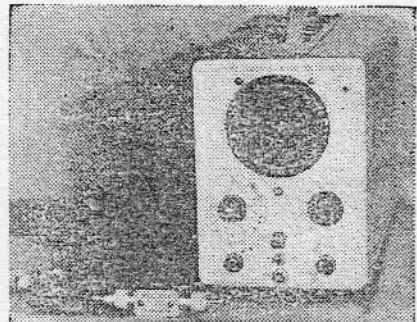
真空管を使用した直列型の定電圧電源で、大型の電圧計、電流計を備え、0~500Vを微細に連続可変のできる、過負荷警報回路つきの主出力(722-C:200mA max, 725-C:500mA max)のほか、真空管のCバイアス出力、

ヒーター用出力(非安定)があり、各種の精密試験用電源として、また真空管回路の実験用としても好適である。安定化された直流出力は0~500V(微調は±25V)連続可変、出力電流も200mA, 500mAが連続可変となっている。リップルは10mV P-P。Cバイアス電源としては0~200V(無負荷、連続可変)で、リップルは3mV P-P。交流出力(非安定化)は722-C, 725-C型いずれも2回路、電圧:6.3V, 電流3A(連続可変)、耐電圧:±500Vとなっている。



●方形波発生器 “495”

小型、軽量に設計された高品位の方形波発生器で、繰返し周波数は0.5c/s~500kc(6レンジ、連続可変、直読)、出力電圧は0.01~3V P-P(5レンジ、連続可変、直読)。これらの出力(75Ω)は15Mcまでの周波数特性および位相特性の測定ができる。このほか8~24V P-Pの600Ω出力を利用できる。外形寸法は最大部で幅176×高さ245×奥行400(mm)で、重量は7.6kgである。



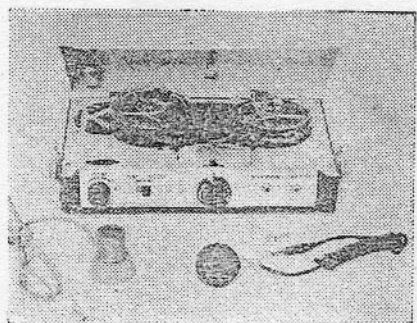
(東京都大田区馬込町西 4 の 67)

Tel: 771-9191

菊水電波 KK

TR テレコ “フジコーダー 102 型”

小型・軽量をモットーに作られた3石のテープレコーダーである。外形寸法は横230×高さ90×奥行170(mm)で、重量は1.2kgである。使用電池は単二×2と積層006P1個で、使用時間は単二が約20時間、積層が約25時間である。テープは3.5インチ・リール(300



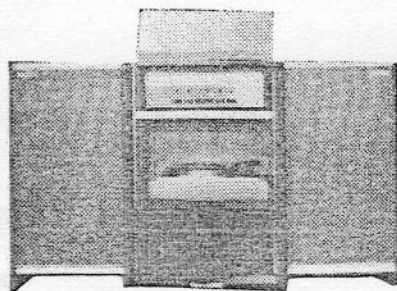


フィート巻)で、録音時間は30分、周波数範囲は200~2,000 c/sとなっている。定価は附風品ともて ¥8,400 である。

(東京都港区芝浜松町 3 の 2)
Tel: 431-8782)
欧米事務機 KK

クライスラーの ステレオ・キャビ・キット “STL-90”

ステレオ・アンサンブル用のキャビキットで、中央部アンプ挿入棚は幅 570×高さ 200×奥行 390 (mm) のスペースがある。プレーヤー部には KS, ナショナル, ニート, CEC のプレーヤー・ユニットが適合するようになっている。左右のスピーカー・システムは全高 935×横 485×奥行 430 (mm) のキャビネットに、低音用 30 cm (コーラル 12L-6A), 高音用ホン型 (コーラル H-3B) が収められていて、インピーダンスは 16 Ω, 再生周波数範囲は 40~16,000 c/s, 最大許容入力 は 20 W である。

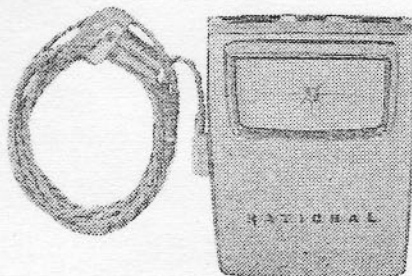


(東京都千代田区神田麻籠町 2 の 1)
Tel: 251-3132)

クライスラー電気 KK

ナショナルの補聴器 “CB-821”

トランジスター 4 個を使った高級型補聴器で、内容は 2SB-173, 2SB-175×3 の 4 石抵抗結合方式になっている。また、日本ではじめて補聴器に AGC 回路が採入れられたもので、騒音の多いところでも楽に聞くことができる。AGC on-off スイッチ、音質 2 段切替スイッチもついている。使用マイクはリラクタンス型 (インピーダンス 2 kΩ/1 kc), イヤーホンは電磁型 (300 Ω/1 kc, 感度 120 dB/mW), テレホン・コイル (インピーダンス 1 kΩ/1 kc) もついで電話の話もできる。電源はナショナルの水銀電池 M-R 型 (1.3 V) またはナショナル乾電池 単五 (1.5 V) を使う。外形寸法は 68×52×18 (mm) で、重量は電池ともて 65 gr である。現金正価 ¥12,000 である。



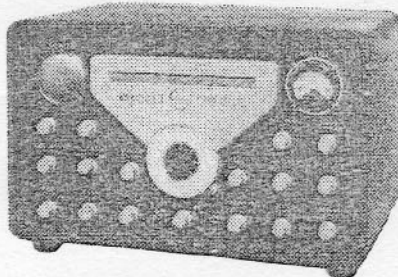
(横浜市港北区綱島町)
松下通信工業 KK

和光通信機の通信型受信機 “TH-615”

3.5 Mc~50 Mc まで受信できるプロ級のオール・バンド・トリプル・スーパーである。つまり、受信周波数は 3.5 Mc~30 Mc と 50 Mc が 4 バンドとなっており、目盛はメイン・ダイヤルとスプレッド・ダイヤルにより 1 kc まで直読できる。50 Mc はトリプル・スーパーに、3.5~30 Mc はシングル、ダブルいずれもスイッチ一つで切換えられる。RF 回路以外は全部プリント配線になっている。使用真空管は 6BA6 (RF), 6BE6 (第 1 Mix), 6BE6 (第 1 Osc), 6BD6×2 (第 1, 2 IF), 6BE6 (SSB 検波), 6AV6 (AM 検波), 6BE6 (第 2 Osc), 6BD6 (第 2 IF), 6AV6 (AF), 6AR5 (電力増幅), 6BA6 (S メーター, AVC), 6BA6 (マーカー発振), 6BA6 (50 Mc 用 Mix), 6C4 (50 Mc 用 Osc), 5MK9×2 (整流), 6AV6 (BFO), 150.VR (スタビロ) と合計 19 球が使っている。

感度は 10 μV (10 Mc にて S/N 20 dB), 選択度は ±0.6 kc (-60 dB), 出力は 1.5 W, 消費電力は 70 VA となっている。モニター用として 2" スピーカーが内蔵されている。マーカーが入っているので受信周波数は間違いなく読め、較正その他にも利用できる。またスタンバイ SW は受信機の前面とジャンパーの後部にリモコンできるような端子がついている。外形寸法は横 370×高さ 240×奥行 250 (mm) である。

値段は郵送料は別で、完成品 (イヤホン付) が ¥38,000, セミキット (真空管, イヤホンなし) が ¥25,800 である。

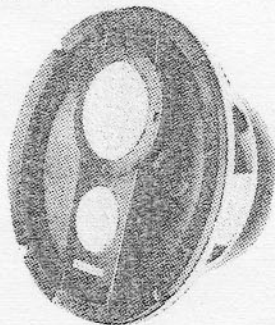


(神奈川県藤沢市藤沢 2001)
和光通信機製作所

オンキョーの新製品 3 種

●トライアキシャル 2 ウエイ SP “8CX-B1”

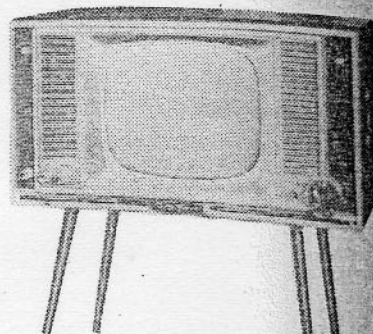
低音域を支持 20 cm スピーカーと高音域を支持 5 cm, 9 cm の 2 本のスピーカーを組合わせたものである。口径は 20 cm, 周波数範囲および偏差は 40~20,000 c/s, ±4 dB, 最低共振周波数は 65 c/s,



出力音圧レベルは 100 dB/W 以上、許容入力 は 8 W, VC インピーダンス 16 Ω, 全磁束は 52,000 マックスウェル, 空隙磁束密度は 10,500 ガウス, 振動系実効質量は 10.3 gr, パツフル開口直径 182 mm, 外径 209 mm, 奥行 135 mm, 重量は 1.45 kg である。現金正価は ¥3,400。

●14 型受信機 “OT-14HA”

90° 偏向, メタルバックのブラウン管 14WP4 を使った, 超選距離用, 卓上型のテレビである。音声出力は最大 2.0 W, スピーカーは同社特許のノンプレスコーン 20×10 cm 楕円型スピーカーを左右に 2 個つけている。外形寸法は高さにして横 696×高さ 373×奥行 410 (mm) で、重量は 20 kg である。現金正価は ¥53,000 で、専用脚部は ¥580。



●オート・ラジオ “6TA-101”

押ボタン (5 つ) を併用した μ 同調式で、高周波増幅付きのトランジスターによる自動車用ラジオである。使用トランジスターは 2SA72, 2SA52, 2SA49, 2SA53, 2SB56, 2SB26 にゲルダイ 1N60 である。受信周波数は 535~1,605 kc で、実用感度は 30 μV 以下, 選択度は ±10 kc 離調で 18 dB 以上, 電氣的出力は 1.5 W 以上, スピーカーは 10×15 cm 楕円型 (ノンプレスコーン) で別のケースに入っており、フロントおよびリヤ・ウィンドウ近くの 2 個所に取付けられる。消費電力は 12 V, 0.45 A で約 6 W である。ラジオ部の外形寸法は横 160×高さ 51×奥行 179 mm で、重量は 2 kg である。現金正価は ¥18,000。



(大阪市旭区大宮西之町 5-32)
大阪音響 KK

本欄の利用法について

この欄は広告とは別に関係はなく、どなたでも御利用になれます。本誌 “国内新製品係” へ写真と説明書を入れて郵送して下さい。但し、ある程度の取捨選択は当方で行います。